

小池アミイゴ ライブ&ワークショップ Our Songs 「にじいろの花」

会期：2011年7月10日（日）～15日（金）

会場：CAY（スパイラル B1F）



**10組のアーティストによる6夜連続ライブと、ワークショップ。
イラストレーター・小池アミイゴが紡ぐ、やさしい音楽と唄の時間。**

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 加藤美穂、清水さえみ、四元朝子(よつもと ともこ)

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp/>

CAYでは、2011年7月10日（日）～15日（金）の6日間にわたり、イラストレーターの小池アミイゴによるライブ&ワークショップイベント Our Songs 「にじいろの花」を開催します。

デビュー前夜のクラムボンやハナレグミなど多くのアーティストを輩出 「より小さな場所で唄を手渡すような」ライブ&ワークショップイベント『Our Songs』

小池アミイゴは、雑誌や書籍、広告などさまざまなメディアで活躍するイラストレーターです。道端に咲く花や空を飛ぶ鳥、旅する途中で見かけた何気ない風景などを題材に、優しい色彩と素朴なタッチで生命の息吹や力強さをいきいきと描いた作品は、対象の「ありのままの姿」や「ただ、そこにあること」の尊さをそのまま肯定するような作者の暖かい視線を感じさせます。音楽業界にも支持者が多く、クラムボンや久石譲をはじめとする数々のアーティストのネットワークを手掛けています。

『Our Songs』は、小池アミイゴが1996年にスタートした歌と音楽のためのイベントで、参加者すべてが表現者であることを理想としています。ときには、ミュージシャンはステージを降りて観客と同じフロアで音楽を奏で、観客は演奏をただ聞くだけでなく、絵や料理のワークショップを通じてイベントに参加することで、DJ、アーティストに限らず、スタッフや観客まで含めて、その時その空間に関わるすべての人が同じ目線に立った時を創ってきました。従来のライブ形式にとらわれないそのゆるやかなイベントスタイルは多くの表現者の共感を得、デビュー前夜のクラムボンやハナレグミの実験場として機能したほか、アーティストの出会いの場所としてその後多くのコラボを生んできました。

10組のアーティストによる6夜連続ライブと、ワークショップ まるで、ひとつひとつ個性のちがう花を織り交ぜた花束のようにカラフルな1週間

今回の『Our Songs』は「にじいろの花」をテーマに、10組のアーティストによる6夜連続ライブとワークショップで構成されます。

「にじいろ LIVE」では、ジャンルもキャリアもさまざまなアーティストが登場。まるで、ひとつひとつ表情のちがう花を織り交ぜた花束のように、1日ごとに個性の異なるライブが繰り広げられます。会期初日に開催される「にじいろワークショップ」では、「小池アミイゴの誰でも絵が描けるワークショップ」のほか、眼鏡スタイリスト藤 裕美がお子さま一人ひとりにぴったりの眼鏡をスタイリングする「眼鏡スタイリスト藤裕美の『KODOMO 眼鏡』」「こども料理教室」「スゴッチの親と子の整体教室」など、親子を対象にした多彩なワークショップを開催。大人もこどもも素直な自分に戻って、純粹にものづくりを楽しむ時間を提供します。また、小池アミイゴによる絵のワークショップで生まれた作品は、会期を通じてCAYの空間で展示・販売し、その収益は東日本大震災の復興支援のために寄付します。

この機会にぜひ Our Songs 「にじいろの花」のご取材、ご掲載をご検討くださいますようお願いいたします。

開催概要

Our Songs 「にじいろの花」

会期: 7月10日(日)～15日(金)

■にじいろ ワークショップ 参加費 1,000円

7月10日(日)13:00～16:00 小池アミゴの誰でも絵が描けるワークショップ他

■にじいろ LIVE 参加費 2,000円 Open 18:00 Start 20:00 ※10日のみ 17:00～

第一夜 7月10日(日) 花*花 / baby tears

*にじいろワークショップ参加者は、参加費 1,000円

第二夜 7月11日(月) Port of Notes / acoustic dub messengers

第三夜 7月12日(火) 曾我部恵一 / とんちピクルス

第四夜 7月13日(水) WATER WATER CAMEL / PoPoyans

第五夜 7月14日(木) omu-tone

第六夜 7月15日(金) バロンと世界一周楽団

会場: CAY(スパイラル B1F) 東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル B1F

予約・お問い合わせ先: CAY TEL: 03-3498-5790

企画・主催: 小池アミゴ×CAY

小池アミゴ プロフィール

群馬県生まれ。長澤節主催のセツモードセミナーで絵と生き方を学ぶ。

フリーのイラストレーターとして1988年から活動スタート。

書籍や雑誌、広告等の仕事に加え、クラムボンのアートワークなど音楽家との仕事多数。1990年代はいくつかのバンドで鍵盤をシバキ倒し、DJとしても CLUB 活動。1996年より音楽と唄のための時間“OurSongs”をスタート。デビュー前夜のクラムボンやハナレグミなど多くの表現者の実験場として機能。2000年以降は大阪や福岡や沖縄を始め日本各地を巡り、地方発信のムーブメントをサポート。より小さな場所で唄を手渡すような LIVE イベントや絵のワークショップを重ねる。

<http://www.yakuin-records.com/amigos/>

僕は2011年3月11日以降の日本で生活しています。

目の前のこと1つひとつが初めてのことのように感じる今。

ならば、今ある場所にボクらの望む花の種を蒔き、
手をかけ育て、花を咲かせてゆけばいいんだと。

それが「にじいろの花」のようであるよう、
青山のCAYの6日間に立ち合ってくれるみんなと、
ボクたちの美しいLIVEを創って行こうと思います。

小池アミゴ

CAY (スパイラル B1F)

こころとおなかを満たす食と音楽のライブ空間です。
タイ料理中心とした身体にやさしい料理、各種アルコールメニューと、幅広いジャンルの音楽を配信する本格的ライブステージとの競演を心ゆくまでお楽しみいただけます。

ランチ営業 11:30～17:00 / ディナー営業 17:00～24:00

TEL: 03-3498-5790 Twitter: Cay_spiral



Photos: Katsuhiko Ichikawa

参考資料①

小池アミゴによる「にじいろ LIVE」テーマ&出演者解説

第一夜 7月10日(日)17:00～ 出演:花*花 / baby tears

**日曜日の青山でオトナも子どもココロをふり切って絵を描く。
そこに花*花の唄が響けば痛快にハッピーだと思うんだ！**

今を生き抜くための同士のような存在でいてくれる花*花。そして、今に本気の癒しを注いでくれる baby tears。そんな愛の唄をこの日のワークショップから生まれた作品に包んで、子どもからオトナまでみんなに手渡してゆこうと思います。



■□花*花□■

2000年7月 ワーナーミュージックジャパンより「あ〜よかった-setagaya mix-」でメジャーデビュー。同年末「第51回 NHK 紅白歌合戦」出場。その後「さよなら 大好きな人」などシングル7枚、アルバム7枚をリリースし、全国ツアーを展開。両者が歌を創り、ピアノを弾き歌うというスタイルでオリジナルだけでなく洋邦問わずカヴァーなども幅広くライブ展開する。2003年活動を休止。

2009年3月花*花誕生10周年に再始動発表。大阪神戸東京にて10周年記念ツアーを開催。その他イベントなど出演し、2010年も引き続き沖縄福岡仙台北海道広島とツアーにまわる。又各地地方にてワンマンライブを行う。2010年12月7年ぶりにニューアルバム「ハライソ」をリリース。
<http://www.blanton-music.com/hanahana/>

■□baby tears□■

深い低音からよく伸びる高音までを巧みに使いこなす シー子を、やさしい倍音の michiko が包み込む、ソウルフルコーラスユニット baby tears。癒し系の2人の歌はまるで祈り。幼なじみの二人はいつしか音楽の道を志し、現在都心のカフェやライブハウス等で活動中。

第二夜 7/11(月)Open 18:00 Start 20:00

出演:Port of Notes / acoustic dub messengers

**親密な静けさの中、血の流れる音や温かさを感じられるような時を、
7月11日という日の夜に創ろうと思います。**

畠山美由紀さんの唄、児島大介さんのギター、アコダブのサウンド。そこからボクがどうしても感じるもの、みんなと共有することが出来るよう、CAY という場所をとことん使い、1人ひとりの手の届くような距離に唄を置いてみます。



■□Port of Notes(ポート・オブ・ノーツ)□■

'96年、ヴォーカリスト・畠山美由紀とギタリスト・小島大介によりポート・オブ・ノーツを結成。'97年、EP『Port of Notes』でCDデビュー。以後、マイペースに作品を発表し現在までに4枚のオリジナルアルバムを発表。

01年、POLA化粧品のTV CMソングとして「With This Affection」が、'02年「Sailing To Your Love」、'03年に「Those My Old Days」が使用される。同年12月、松任谷由実30周年カバー・アルバム『Queen's Fellows』に参加、翌年1月、日本武道館で行われたYuming Tribute Concert “Queen's Fellows”にも出演。'04年に発売された、3rdアルバム『Evening Glow』では、松任谷由実の参加も話題となった。'08年2月、デビュー10周年を記念して、自身の選曲に新曲を加えたベスト盤『Blue Arpeggio～Own Best Selection～“青いアルペジオの歌”』をリリース。

'09年、全曲NY録音、Jesse Harris プロデュースによる5年振りのオリジナル・アルバム『Luminous Halo～燦然と輝く光彩～』をリリース、8年振りの全国ツアー “Luminous Halo” Tour 2009”を開催。

2010年、全国26カ所を超える各地にて、メンバー2人による歌とギターだけのアコースティックツアー “まちのおと” を開催した。

■□acoustic dub messengers□■

1996年結成、同年トル・クリーチャーズ監修のオムニバス「sign off from amadeus」に“かえろうかな”収録。

2000年シングル『musik,ist liebe』リリース。収録曲“エリノラの休日”がアフタヌーン・ティールームのコンピレーション・アルバム4作品に収録。2001年に1stアルバム『muginipichi』をリリース。以降ライブ活動とメンバー個々の活動も増えるとともに数々のコンピレーション・アルバムやトリビュートアルバムにも参加。

2003年イタリアのレーベル、ライト・テンポより『musik,ist liebe』『muginipichi』をカップリングしたアルバム『acoustic dub messengers』をリリース。イタリアでのリリース・ツアーも敢行。同年、ウルトラ・リヴィングをプロデューサーに、ゲストにミュージカル・ソウのケブ・ホッパーを迎え2ndアルバム『chaco』をリリース。

2005年soundwormこと庄司広光をエンジニアに、ゲストにジェン・ウッド、gland hallwayのtomoを迎え3rdアルバム『will』をリリース。

現在、次作品に向けマイペースに活動中。

第三夜 7/12 (火) Open 18:00 Start 20:00 出演: 曾我部恵一 / とんちピクルス

週のどこか、なんでもない日の夜の青山で曾我部恵一が唄う。

そんなことを想像するだけで、世界はちょっとはマシに見えてこないだろうか？

やる事成す事すべてに「うん、うん、」と共感、「PINK」なんてアルバムまで出してしまった曾我部さんを初めてお迎えます。ならば福岡からとんちピクルスと呼んでしまおうってね、なんつーか、愛と言うなのテロですよ、これは。



■□曾我部恵一(そかべけいいち)□■

1971年生まれ、香川県出身。ミュージシャン。ROSE RECORDS 主宰。ソロだけでなく、曾我部恵一 BAND、再結成を果たしたサニーデイ・サービスなどで活動を展開し、歌うことへの飽くなき追求はとどまることを知らない。プロデュースワーク、執筆、CM・映画音楽制作、DJなど、その表現範囲は実に多彩。下北沢のカフェ兼レコード店 CITY COUNTRY CITY のオーナーでもある。多岐に渡る活動を集約し、今一度、表現主体である曾我部恵一として歌へと向き合ったポップスアルバム『PINK』を2011年4月21日にリリース。

<http://www.sokabekeiichi.com>

■□とんちピクルス□■

福岡在住の松浦浩司によるソロユニット。福岡のみにとどまらず各地の美容室、カフェ、ギャラリーなどで活躍中。ウクレレの弾き語り、自作のバックトラックにのせてラップなど奔放なスタイルで人生のわび、さびを歌い上げる。警備員、映写技師などを経て、今は鈍行列車に揺られながら演奏旅行を続けている。

<http://happy.ap.teacup.com/tonchi/>

<http://www.myspace.com/tonchipickles>

第四夜 7/13 (水) Open 18:00 Start 20:00 出演: WATER WATER CAMEL / PoPoyans
**ヨロコビも悲しみも、LOVEも痛みも、生きるも死ぬも、スベテは今を並走して
いることだから、週の半ばに交差点のような時間を創ってみます。**

青山のCAYという場所にどうしてもなく染み付かせたかった WATER WATER CAMEL の音楽。去年の CAY にどうしてもなく染み付いた PoPoyans の唄。それと CAY に集う1人ひとりの重ねてきた時とを丁寧に紡ぎ、親密な空間を創造します。



■□WATER WATER CAMEL□■

中2からはじまり今年で結成16年。

全国の小学校から洋裁学校まで、お寺から植物園まで、長年の人と密接なライブ活動によって独自のネットワークを持つ。”音楽に救われる”。 WATER WATER CAMEL の小さな世界に、そんなバカらしくて美しい力が宿っている。 <http://waterwatercamel.com>

■□PoPoyans(ポポヤンズ)□■

音楽制作をしてきた cheru と映像制作をしてきた nonchan が美大で出会い、nonchan 監督による自主映画の音楽を作るために2人でPoPoyansを結成。2007年3月、自宅のホームオーディオで一発録りされた自主制作音源「おやすみ前のあなたに」を発表。ライブ活動を開始。清らかな歌声、チャーミングなパフォーマンス、映像を導入したライブが噂を呼ぶ。2007年12月、フィールドレコーディングにも挑戦した2枚目の自主音源「こわくない森」を発表。噂を聞いた鈴木惣一郎氏がプロデュースを引き受け12月よりレコーディングを開始。2008年1月、細野晴臣氏が音楽監督を務めた映画「グーグーだって猫である」のサウンドトラックにコーラスで参加。2008年7月9日、ファーストアルバム「祝日」を発売。鈴木惣一郎氏率いる音楽家集団 World Standard にコーラスで参加。2008年12月ロードショー熊切和嘉監督、坂井真紀さん主演映画「ノン子36歳(家事手伝い)」の主題歌を担当する。2009年サマーソニック09に出演。2010年映画「告白」挿入歌担当。 <http://www.popoyans.com/>

「にじいろの花」第五夜 7/14 (木) Open 18:00 Start 20:00 出演 : omu-tone

**そろそろ一歩踏み出し加速させてゆきたいことがあるね！
そのリズムは、日本のチャーミングなの3人の女の子が叩き出すものがいいいね！**

オムトンのリズムを浴びてたら、ワールドカップを闘う日本代表のサッカーが浮かんできた。「やっぱ日本人だからな、クリスチアーノ・ロナウドじゃなくて香川真司だよな～」とかね。わかるかな～？まあ、CAY で出会ってみてくれたまえ。



■□omu-tone□■

Chang-Nong、わかめーる、TKO の3人からなる打楽器ユニット。2003年の結成以来、マリンバの特徴的な音色を中心に、ジャンベやドラム、コンガ、ピアノなどの様々な打楽器を使い、軽やかで心地よい音作りを目指して活動を続けている。そのシンプルでミニマルながらも多幸感にあふれる楽曲は、コアな音楽ファンからこだわりのライフスタイルショップまで、はたまた公園や動物園の家族連れまで、多くの人々に愛されている。

これまでにオリジナルアルバム4枚と企画盤2枚を発表。

ライブではカフェやライブハウスはもちろん、アートスペースや公園など、東京を拠点に気ままに幅広い活動を展開している。 <http://www.omu-tone.com/>

第六夜 7/15 (金) Open 18:00 Start 20:00 出演: バロンと世界一周楽団

「アミゴさん、東京ってどんな街？」で聴かれたら、「バロンくんがその辺で唄っている街だよ」で答えるんだ。この日は青山の CAY で唄ってるよー！

今回真っ先に出演オファーをしたのがバロンくん。
ともかく東京に知ってもらわなきゃ困る人！ウクレレ弾いて唄って踊って、タップも踏んで、パントマイムや軽演劇まで飛び出るボードビルショーは、CAY の必然！



■バロンと世界一周楽団■

クレイジーキャッツやドリフターズ初期のショーを彷彿させる喜劇演芸楽団。オリジナル音楽から、日本語詞のスイングジャズ、スカ、童謡、ラテン等ジャンルはワールドワイド。手作り楽器にタップダンス、パントマイム、喜劇/コントを組み合わせたショーは老若男女問わず心躍らせます。2010年9月には浅草東洋館で1週間の単独公演が大成功。
<http://www.aroundtheworldorchestra.com/>

参考資料②

小池アミゴによる「にじいろワークショップ」解説

7/10(日) 13:00~16:00 定員 70 名 参加費 1,000 円 (要予約)

オトナも子どもいっしょになって、ココロもカラダもふり切ったモノづくり！

・「スゴッチの親と子の整体教室」

ミュート指導員、整体武術心道有段者、針灸マッサージ師の菅生文明(すごう たけあき)さんの指導で、絵を描く前のカラダとココロをほぐしましょう！



・小池アミゴの「誰でも絵が描けるワークショップ」

イラストレーターの小池アミゴが日本のあちこちで行っている、表現の最初の1歩をシアワセなものにするワークショップ。生まれた作品はそのまま CAY の 6 日間で展覧会！
<http://www.yakuin-records.com/amigos/>

・「こども料理研究室」

世界にひとつだけの花クッキーを作ろう！手作りクッキーでおやつタイム！

・眼鏡スタイリスト藤裕美の「KODOMO 眼鏡」

いろんなめがねを掛けて変身しよう！カメラマンに写真を撮ってもらってモデル気分になろう！眼鏡スタイリストの藤裕美がたくさんめがねを持ち込んで楽しいめがねの世界を体験させます。(撮影:藤堂正寛)
<http://glasses-o-o-brille.com/>

・「ミニライブ」 こじまいづみ(花*花)

京都を拠点にお母さんと子どものためのワークショップを重ねているこじまいづみさん。みんなが主役の唄の時間です！

*ワークショップ参加者は、プラス 1,000 円で 7 月 10 日(日)17:00~「にじいろ LIVE」(花*花 / baby tears)に参加いただけます。